

管理運営状況等について【しろね大凧と歴史の館】

(1) 指定管理者について

□ 良い点、評価できる点等

- ・建物や展示品に清潔感があり、建物の管理が行き届いていると感じた。凧の手入れも行き届いておりハード面での維持管理の高さは評価できる。
- ・地域に密着した館として運営されている。3D映像室の立体映像は見応えがあり、地域との結びつきも、よく理解できる。
- ・展示されている凧の種類も豊富で、海外のものも展示されているところから、グローバルな視点から鑑賞できる。
- ・展示だけではなく、凧工房や風洞実験室も備え、体験的なプログラムも導入されており、来館者にとっては魅力あるものとなっている。
- ・大凧に関する体験コーナー等の設置や収蔵品の多様さ、案内人の設置等に関しては努力は認められる。

□ 悪い点、改善すべき点、課題等

	悪い点、改善すべき点、課題等	対応策 (H29.3月時点)	対応状況 (H30.2月フォローアップ調査)
1	素晴らしいコンテンツや展示物の潜在性を活かせるには至っていない。PRや収益改善など、今すぐできることは山のようにある。例えば、Tシャツなどのグッズを企画し、物販を充実させたり、今月限定の凧を売る等、何度を足を運びたいなる仕組みを作るべきである。	南区観光協会の売店があるため、当方で勝手に対応できません。(既に販売中) 開館記念日にグッズプレゼントを検討しています。	レポートに繋がるように、開館記念日に記念品を配布しました。今後も多様なグッズ製作を検討いたしております。 (オリジナルキャラクターの設定をして、グッズ製作なども企画中)
2	入館者数に対し、アンケートの回収数がわずか0.5%強である。アンケート以外でもよいから、観覧者の意見をくみ上げる方法を考えるべきだと考える。アンケートで得られた意見は、分類(苦情、賞賛、意見等)して分析を進めるべきである。また、アンケートに、全体的満足度という項目があってもよいのではないか。	入館者の皆様のご意見を傾聴すべきであることを自覚し、参考にしていきます。 アンケートの項目の見直しを行います。	入館者の皆様のご意見を傾聴すべきであることを自覚し、参考にしていきます。 アンケート項目については、30年3月から「全体的満足度」を追加し、見直しを実施しています。
3	障がい者の対応として車いすは常備されているが、聴覚障がい、視覚障がい者にも対応できるハード・ソフト面の充実が望まれる。	視聴覚障がい者には、凧の素材に触れてもらったり、音声ガイドを配置しています。 尚一層、配慮、工夫します。	視聴覚障がい者には、凧の素材に触れてもらったり、音声ガイドを配置しています。 尚一層、配慮、工夫します。

4	<p>月(季節)によって入館者数のばらつきが見られる。具体的には、冬期の12・1月の入館者数が少ない。また、4月は新潟は季節もよく入館者数を伸ばせる時期ではないかと思われる。</p> <p>年間を通じて安定した入館者数の確保を期待したい。総じて受身的な姿勢ではないかと思われるので、積極的な広報やイベント等の工夫が求められる。また、旅行社とタイアップツアーに組み込むことなども、安定した入館者の確保に繋がると考える。また、地域的なばらつきもあるので、所管課と共同して、各区の産業振興を所轄する行政との連携も欠かせない。</p>	<p>岩室・弥彦・寺泊・月岡・咲花・村杉等のホテルや、新潟市内の各小学校・保育園、県外の旅行会社・各施設に出向き、広報活動を展開中です。</p> <p>今後も新規需要開拓に努力します。特別展示などもニーズに合ったものに工夫します。</p>	<p>冬期間である3月にイベントを開催し、冬期間の来館者数増加に向けた試みを行っております。</p> <p>昨年の3月開催の「凧まつり」は多くの方にご来場いただき、大変好評でした。今年度は、VR体験などの新しい試みを実施いたしました。</p> <p>また、「アートミックスジャパン」などの催事にも積極的に参加し、館のアピールに努めています。</p>
5	<p>一層の財務のコスト削減、来館者(利用者)1人あたりのコスト削減が求められる。</p>	<p>凧の管理費に経費がかかっていますが、空調などの固定費に配慮しつつ、節電等努力します。</p>	<p>上記の様なイベントの実施を通じ、来館者の増加をさせることにより、一人あたりのコスト削減に努めています。同時に節電など、光熱費の削減にも努めています。</p>
6	<p>大凧に関する部分は力が入っているが、郷土の産業にも力を入れるべきである。しろね大凧と歴史の館であるが、歴史に関しては不十分である。今後の対応を期待する。</p>	<p>「白根絞り」等に関する特別展示などを、本年は計画中です。入館者の皆様にも関心を持ってもらえるよう対応したいと考えています。</p>	<p>「白根絞り」の展示会を開催し、地域の方にも好評いただきました。3月には「白根今昔写真展」を開催予定しています。</p>
7	<p>外国人が好む施設と思われるため英語バージョンなどのホームページもあった方がよい。</p>	<p>検討し、条件が整えるならば対応したいと考えています。</p> <p>現状では予算面などで対応が困難ですが、今後の課題として取り組みます。</p>	<p>検討し、条件が整えるならば対応したいと考えています。</p> <p>現状では予算面などで対応が困難ですが、今後の課題として取り組みます。</p>
8	<p>館長も熱意があり、良いと思うが、これが属人化しないように、マニュアルの整備や育成計画を考える必要がある。</p>	<p>意識しつつ、注意しながら心がけていきます。</p> <p>今後の課題として取り組みます。</p>	<p>意識しつつ、注意しながら心がけていきます。</p> <p>今後の課題として取り組みます。</p>

(2)市(所管課)について

□良い点、評価できる点等

- ・膨大な展示物を収蔵・管理する体制を敷いたのは慧眼である。
- ・新潟県指定無形民俗文化財となっている「白根大凧合戦」との繋がりの中で指定管理者とともに運営を行っている。
- ・白根大凧合戦なども含め、凧に関連する事項については、連携が取れている。

□悪い点、改善すべき点、課題等

	悪い点、改善すべき点、課題等	対応策(H29.3月時点)	対応状況(H30.2月フォローアップ調査)
1	秋葉区など、来場者がほとんどいない他の区役所と密に「文化交流」を行う仕掛けを作してほしい。	遠方からの来訪者拡大に目を向けがちであるが、市内近隣からの来訪やリピート誘客という観点からもPRしていきたいと思います。 また、隣接する秋葉区や西蒲区にも様々な文化や観光拠点があることから、周遊観光の提案など、区相互の連携を検討し、推進してまいりたいと思います。	市内の各文化・観光施設相互にパンフを配架し、PRに努めています。
2	英語版など多言語HPやPRなど、市役所の持つノウハウを指定管理者にも伝えてほしい。	指導、伝達してまいりたいと思います。	多言語HPや中国語版パンフレットの作成など、外国人に向けたPRツールを指定管理者と協力しながら増やしていく予定です。
3	重点課題の一つに、「新潟市歴史博物館との連携を図り、文化財や歴史資料の普及と活用の拠点施設とする。」とあるが、地理的にも近い、新潟市新津鉄道資料館や北方文化博物館などとの連携を深め、より一層、広い視野から文化財等の保護・伝承に努めていただきたい。一方で、現代の子どもや若者にマッチした運営も考えたい。例えば、音楽との繋がりやコンサートなどのイベントとの組み合わせが考えられる。これらのことは、指定管理者のみでは難しい側面もあるので、所管課のバックアップが求められる。	新潟市新津鉄道資料館や北方文化博物館などとの連携を深めて参ります。 また、児童や若者のニーズをとらえた指定管理者自主事業の実施を促してまいります。	VR体験、凧まつりなど、幅広い年齢層をターゲットにした取り組みを実施いただくとともに、「アートミックスジャパン」などにおいても施設PRを行っています。 白根大凧合戦には、北方文化博物館から出展・PRいただくなど連携を図っているところです。
4	大凧に関する部分は力が入っているが、郷土の歴史や産業にも力を入れるべき。指定管理者との連携により、発信してほしい。	南区には、日本三大絞りと云われた白根絞りの、伝統的工芸品に指定されている白根仏壇、月湯鎌など誇るべき伝統的産業も多くあります。 これらを含め情報発信に努めてまいります。	伝統的工芸品を含め、南区の産業、物産について、施設での展示を継続しているところです。 また、自主事業として「白根絞りの展示会」も実施いただきました。 白根絞りに関しては、特色ある区づくり事業により商品化を進めており、今後、施設での販売展開を検討しているところです。

5	指定管理者に任せているとはいえ、施設の老朽化について第三者的な姿勢が窺える。このような問題は南区の観光全体に関わる問題であり指定管理者とともに考えていく事項ではないか。	不具合箇所については、その都度、度合いに応じて費用分担し、市と指定管理者とで補修を行っています。3D映像装置の更新など今後の大きな課題もありますが、引き続き来訪者に満足いただける施設の維持を図ってまいります。	近年、団体旅行から個人旅行へのシフトが見受けられることから、平成30年度では、施設の在り方を見直すとともに、3D映像についても関係団体と意見交換し、機器の更新に向けた方向性について検討していく予定です。
---	--	--	---